

2. 事業の概要と成果	
(1) プロジェクト目標の達成度 (今期事業達成目標)	プロジェクト目標である「対象校の生徒、教員、保護者たちが衛生・防災知識を身に着け、安全な学習環境を整備・維持し、衛生管理および防災活動を自ら実践していくことができるようになる。」に関して、コンポーネント3の防災活動については実施しなかったため、防災知識の獲得および防災活動の実践に関しては貢献がないが、対象校の生徒167名およびその保護者たちと、教員11名が衛生知識を身に着け、安全な学習環境を整備・維持する環境が整い、衛生管理を自ら実践していくことができるようになった。 上位目標「ラインブエおよびコーカレータウンシップの子どもたちが、健康に、安全な学習環境で学ぶことができるようになる。」の実現に対して、以下の2つの分野において包括的に貢献した。 (1) 学習環境の整備 対象2校の校舎・教員宿舎建設、衛生施設の修繕・建設、ソーラーシステムの導入、学校備品・学校家具の提供を行い、各校13名から成る学校運営委員会（以下、SMC）の形成および研修実施により、上記新設・提供品の整備・維持管理が継続的に成される環境を整えた。また、授業参観・懇談会を実施することで、保護者・行政職員も巻き込んだ持続的な維持管理体制を築いた。 (2) 衛生啓発・衛生活動 対象2校の生徒計80名を対象に衛生啓発研修を実施し、研修を受けた生徒を含め各校10名から成る衛生推進委員会を形成し、事業終了後も衛生活動の実践が続けられる環境を整えた。 今期事業達成目標：1年次対象校の生徒、教員、保護者たちが衛生と防災の知識を身に着け、整備された学校で衛生活動および防災計画策定に向け、災害時の地域のリスクや脆弱性を把握する。
(2) 事業内容	変更申請承認を経て予定された活動を、5.5か月の事業期間延長の承認を得た上で、延長も含めた事業期間内に完了した。なお、1年次対象校は3校から2校へ変更し、コンポーネント(3)防災啓発・防災活動を実施しない旨、変更申請を提出し、承認を得ている。また、1年次の対象校数は当初の3校から2校への変更承認を受けている。 (1) 学習環境の整備 カレン州ラインブエタウンシップのYin Paing Nga Pyaw Taw 中学校およびHtee Ywa They Hta 小学校の学習環境を整備した。 <u>1-1. 校舎建設</u> Yin Paing Nga Pyaw Taw 中学校に4教室+1職員室の校舎1校、Htee Ywa They Hta 小学校に5教室+1職員室の校舎1校を建設し、1年次の対象2校において計2校舎（鉄骨造）を建設した。 <u>1-2. 教員宿舎の建設</u> 1年次の対象2校において、各校3部屋1棟、計2棟の教員宿舎（鉄骨造）を建設した。 <u>1-3. 衛生施設の修繕・建設</u> 1年次の対象2校において、各校に2基のトイレ1棟と1,000Lの高架タンク1基、計2棟のトイレの新設と2基の高架タンクの設置を行

った。また、Yin Paing Nga Pyaw Taw 中学校の井戸 1 基を修繕した。

1-4. 学校設備の整備

1 年次の対象 2 校にソーラーシステム (300W×3) を導入した。

1-5. 学校家具の提供

Yin Paing Nga Pyaw Taw 中学校に生徒用机 40 台、椅子 40 脚、教員用机 5 台、椅子 15 脚、会議用机 (職員室用) 2 台、ホワイトボード 4 枚、本棚 4 個、収納棚 4 個、ファン 8 台を、また Htee Ywa They Hta 小学校に生徒用机 50 台、椅子 50 脚、教員用机 6 台、椅子 17 脚、会議用机 (職員室用) 2 台、ホワイトボード 5 枚、本棚 5 個、収納棚 5 個、ファン 10 台を提供した。

1-6. 学校備品の提供

以下の学校備品を各校に提供した。

Yin Paing Nga Pyaw Taw 中学校

ペン 90 本、ホワイトボードマーカー 4 箱、ホワイトボード消し 9 個、記録帳 9 冊、ペン立て 9 個、パンチ 9 個、電卓 9 個、ホッチキス 9 個、ホッチキス針 9 箱

Htee Ywa They Hta 小学校

ペン 50 本、ホワイトボードマーカー 5 箱、ホワイトボード消し 10 個、記録帳 5 冊、ペン立て 5 個、パンチ 5 個、電卓 5 個、ホッチキス 5 個、ホッチキス針 5 箱

さらに、新カリキュラム導入に伴い必要な補助教材 (教育省および教育局より援助のないもの) として、Yin Paing Nga Pyaw Taw 中学校に理科補助教材として電子系実験器具一式、科学系実験器具一式、音楽補助教材として伝統楽器シネワ 25 セット、木琴 1 台、笛 55 本、体育補助教材としてボール 4 個、バレーボール 2 個、ネット 1 個、縄跳び 5 本、バドミントン用具 2 セットを、Htee Ywa They Hta 小学校に音楽補助教材として伝統楽器シネワ 20 セット、木琴 1 台、笛 45 本、体育補助教材としてボール 4 個、縄跳び 5 本を提供した。

1-7. SMC 能力強化・学校維持管理研修

1 年次の対象 2 校の各校において、村長、教員、保護者、生徒の 13 名から構成される SMC を形成した。実質的に活動を開始できた 2022 年 3 月から 8 月にかけて、SMC/PTA の学校維持管理能力強化を目的とした学校維持管理研修を月 1 回、計 7 回実施した。研修では、毎月の活動計画や研修・ワークショップ計画を議論した他、学校設備・施設の維持管理やファンドレイジングに関しても議論し、提供した備品等も含めた学校維持管理計画書とファンドレイジング計画書を策定した。

1-8. 授業参観・懇談会

1 年次の対象 2 校において、授業参観および教員と保護者の懇談会を実施した。授業参観開催時には Yin Paing Nga Pyaw Taw 中学校においてはラインブエアシスタントタウンシップオフィサーが、また Htee Ywa They Hta 小学校においてはカレン州教育局職員が参加し、授業の様子および建設・修繕した学校設備を視察した。

(2) 衛生啓発・衛生活動

	<u>2-1. 衛生啓発・衛生研修</u> 1 年次の対象 2 校において、各校 40 人、計 80 人の生徒を対象に 1.5 時間/日×5 日間の衛生啓発研修を実施した。 <u>2-2. 衛生推進委員会の形成および衛生改善活動の実施</u> 1 年次の対象 2 校において、研修を受けた生徒の中から各校 8 名の衛生推進委員を選出し、教員 2 名を併せた計 10 名から成る衛生推進委員会を形成した。 衛生推進委員会では生徒同士で、手洗い、三大栄養素、トイレの利用法、下痢といったテーマで衛生改善啓発研修を行った。また、手洗いの実践、清掃等の衛生改善活動を実施した。 <u>2-3. 活動の成果発表</u> 1 年次の対象 2 校において、保護者や近隣住民を招待し、衛生啓発・衛生研修受講後、衛生推進委員会を中心に進めた、手洗いの実践、個人衛生、清掃等、校内での衛生活動の成果発表を行った。
(3) 達成された成果	本事業は、事業対象校の教育環境の包括的な改善を目指し、持続可能な開発目標(SDGs)の「目標 4. すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」に沿った活動を実施した。 教育インフラ(校舎、トイレ、給水施設等)を改善し、また教員の質を向上させることで、ターゲット 4.1「2030 年までに、すべての子どもが男女の区別なく、適切かつ有効な学習成果をもたらす、自由かつ公平で質の高い初等教育および中等教育を修了できるようにする。」の達成に貢献した。また、少数民族(カレン族)が主に居住している地域で支援を実施することでターゲット 4.5「2030 年までに、教育におけるジェンダー格差を無くし、障害者、先住民および脆弱な立場にある子どもなど、脆弱層があらゆるレベルの教育や職業訓練に平等にアクセスできるようにする。」の達成に貢献した。 【成果 1】教育局の基準を満たし、生徒数に対して十分な校舎・設備を各対象校に建設・設置した。トイレに関しては Yin Paing Nga Pyaw Taw 中学校の生徒 124 人に対して 5.6%、Htee Ywa They Hta 小学校の生徒 43 人に対して 9.3%と、いずれも生徒数に対して成果指標の 2.5%以上の数のトイレを設置した。各対象校における生徒の年平均の出席率は Yin Paing Nga Pyaw Taw 中学校 99%、Htee Ywa They Hta 小学校 100%と、いずれも 95%以上となり、生徒たちが集中して学習する環境が整った。 【成果 2】各対象校において、Yin Paing Nga Pyaw Taw 中学校では全回 100%、Htee Ywa They Hta 小学校では平均出席率 94%(最低出席率 85%)と、いずれも毎回 80%以上の出席がある SMC ミーティングが、実質事業活動が開始された月から毎月開催され、ミーティングにおいて学校維持管理計画及び収支計画が策定された。事業終了までに計画が実行に移されている。また、Yin Paing Nga Pyaw Taw 中学校では学校周囲にフェンスがなかったことから、SMC が中心となってフェンスを設置したり、雨季後、排水管に溜まったごみを掃除して取り除くなどした。Htee Ywa They Hta 小学校では学校周辺の道路の整備、学校フェンスの修理、排水管のごみの掃除等を SMC が中心となって行っており、SMC が学校施設の不具合等を把握した場合にはすぐに対策を取っていることが見受けられた。収支計画に基づいた財源を確保し、

	各校の SMC、コミュニティリーダーが学校を持続的に運営管理できるようになったと言える。 【成果 3】衛生啓発・衛生研修を受講した生徒の事業実施前後の理解度テストの結果は以下の通りであり、事業実施後は理解度調査ですべての生徒が 80 点以上を取得し、生徒が衛生に関して理解を深め、事業実施後 100%の生徒が内容を理解したと言える。 Yin Paing Nga Pyaw Taw 中学校 事前テスト：平均 60 点、最高得点 68 点、 事後テスト：平均 95 点、最低得点 80 点 Htee Ywa They Hta 小学校 事前テスト：平均 53 点、最高得点 68 点、 事後テスト：平均 93 点、最低得点 80 点 また、衛生啓発・衛生研修を受講した生徒計 80 人のうち、すべての生徒が衛生の重要性を理解し、事業実施前後で、生徒の学校トイレの利用率は 61%から 96%に、生徒のトイレ利用後の手洗い率は 43%から 99%に、手洗い時の石鹸利用率は 14%から 96%になるなど、個人衛生に気を付けるようになり、習慣化された。詳細は補足資料「KAP 調査結果」を参照。 【成果 4】事業実施後、手洗い、歯磨き等、衛生に関する自主的な活動が一つ以上継続しており、また事業終了後も衛生啓発活動を月 2 回実施するなど、自主的に学校の衛生管理が行われていく素地が作られていると言える。
(4) 持続発展性	本事業では、学習環境のインフラ整備と、SMC の形成・能力強化研修、授業参観・懇談会の実施により、ハード面とソフト面で学習環境の改善を図った。また、それらに加えて衛生啓発・衛生活動を実施し、子どもたちとその家族が健康に過ごせるようになることで、学習の質向上を図った。 建設した校舎、教員宿舎、衛生施設、学校設備および提供した学校家具・備品はラインブエ教育局および SMC に引き渡し、SMC に対しては数か月に渡りそれらの維持管理研修を実施した。事業終了後の維持管理に必要な資金に関しても、ファンドレイジング計画を策定し、事業終了前から計画に基づいた資金調達を開始し、事業終了後も、SMC を中心に自主的に不具合への対応等が実施されていることを確認できている。また、授業参観・懇談会に保護者、ラインブエタウンシップおよびカレン州教育局の職員を招待し、教員との対話の場も設けたことで、保護者およびタウンシップ・州政府も巻き込んだ形で今後の維持管理が成されていくことが期待される。研修を通して策定した学校維持管理計画書とファンドレイジング計画書を基に、今後も SMC が中心となって施設および備品の維持管理が実施されていく体制を構築した。 衛生啓発・衛生活動においては、研修実施後、各対象校から衛生推進員を選出し、衛生推進委員会を形成した。事業終了後も、彼らが中心となって月 1-2 回の衛生知識の共有等の活動が成されていることが確認できしており、今後も衛生推進委員会が中心となって、衛生活動が継続されていく体制を構築した。